

プレファーマシー実習Ⅱ	岡村 昇・笠井 眞二・片岡 和三四郎 ・栗原 晶子・豊原 朋子
-------------	------------------------------------

科目目標	プレファーマシー実習Ⅱは、病院実務実習・薬局実務実習に先立ち、大学内で調剤、服薬指導、疑義照会など薬剤師業務に必要な項目について基本的知識、技能、態度を習得することを目標とする。（プレファーマシー実習ⅠおよびⅢは本科目を補完するものである。）
授業内容	注射剤、血漿分画製剤、生物製剤、消毒薬、リスク回避などの演習・実習を行うとともに、医薬品情報、TDM、遺伝子解析など先進的な薬剤師業務についても実習する。
授業計画	<p>実務実習モデル・コアカリキュラム（Ⅰ）実務実習事前学習（4）（5）の範囲を含み、下記項目に関する基本的知識、技能、態度を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 注射剤 注射剤の配合変化、無菌的手洗い、クリーンベンチ操作、注射剤の無菌的混合 2. 血漿分画製剤 血漿分画製剤および輸血用血液製剤の管理と取扱い 3. 生物製剤 生物製剤の管理と取扱い 4. 消毒薬 消毒薬の種類、適応、用途、使用濃度、調製時の注意点 5. 放射線医薬品 放射線医薬品の管理と取扱い 6. リスクマネージメント 薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例、誤りやすい調剤例、誤りやすい投薬例、副作用の初期症状、院内感染の回避法 7. 院内製剤 院内製剤の調製 8. 個別化医療 TDMによる投与計画、遺伝子解析 9. 医薬品情報 種々データベースによる医薬品情報収集
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート[作品含む](20点) ・平常点等(80点) 配点内訳：実習態度および実習終了時の実技評価により行う。
教科書	堀岡正義/調剤学総論/南山堂
留意事項	プレファーマシー実習Ⅰ・Ⅲと同様に、実習には積極的に取り組むこと。

シラバスID : 114200970